

放射線読影レポート期日内作成率

●説明

放射線読影レポートとは、病院内で実施しているCTやMRI、核医学検査といった画像検査について、画像診断の専門家である放射線科医が病気の有無や重症度・進行度などについて専門的なコメントを文章にして主治医に返却したものです。専門性が高く時間のかかる作業である一方で、病気に関する情報は遅滞なく返却することが望まれております。このように期日内に返却できたレポートの割合が高くなるほど、医療の質が向上すると考えて、この指標が設定されています。

●計算式

$$QI = \frac{\text{翌診療日までに返却出来たレポートの数}}{\text{病院内で実施した検査の総数}} \times 100$$

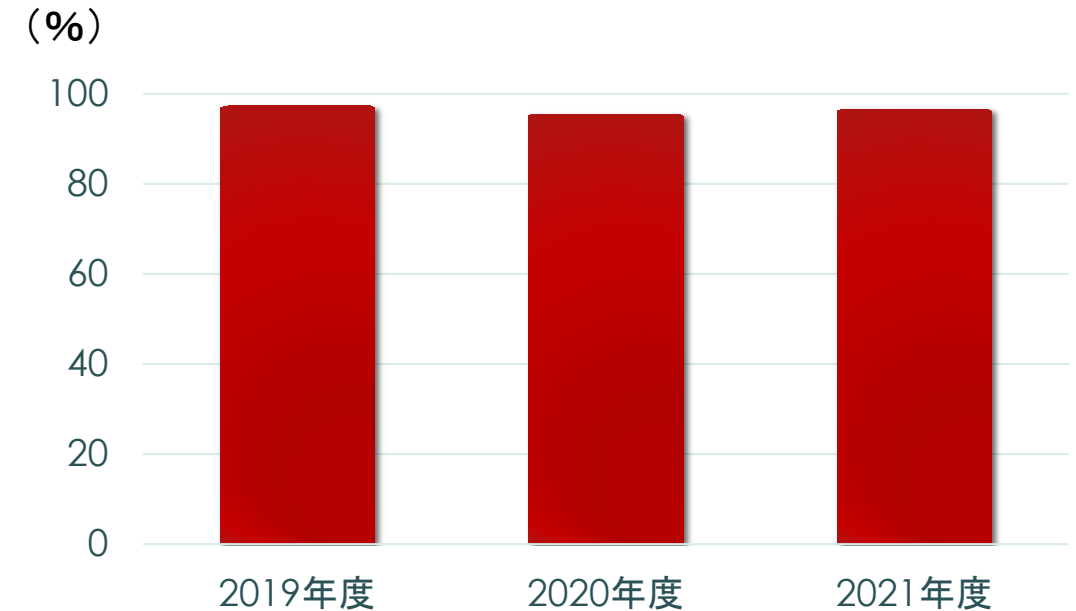
●目標

画像診断には迅速性とともにも質も同時に担保する必要があるため、必要な症例は十分な検討を行った上でレポートを発行する必要があります。このため100%を目標とすることは現実的ではなく、後述の施設基準を十分満たすレベルとして、90%と設定しました。

●計画

現在の高い期日内作成率を維持するために、業務の効率化、若手医師のトレーニング、そして遠隔医療の併用などを引き続き進めていきます。

●実績



●評価

厚生労働省の定める施設基準では80%を超えることで施設認定が受けられます（管理加算3を算定可能）。当院ではこの基準をクリアしており、質の高い医療に寄与できていると考えられます。